

明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いいたします。

**eGFR50未滿の対象者716名へ受診勧奨を行い、
病診連携医の先生方をご紹介しました**

平成21年7月からスタートした熊本市CKD対策。病診連携医の先生方のご協力の下、すでに250件を超える腎臓専門医への紹介報告をいただいています。また、国民健康保険課では、H20年度特定健診の結果eGFR50未滿の対象者716名へ受診勧奨を行い、病診連携医の先生方をご紹介しております。H21年度の対象者へも引き続き受診勧奨を行っております。患者様が受診されました際には、御高診いただきますようお願いいたします。

**CKD啓発キャンペーン2009を実施し、
尿検査キット1000部配りました**

昨年11月8日(日)に、ゆめタウンはませんで「CKD啓発キャンペーン2009～腎機能確かめてみよう～」を実施、CKDに関する啓発・健康相談・尿チェックキットの配布を行いました。100名を超える相談があり、尿試験紙は1000部用意していたものが全てなくなり、大盛況でした。来場者の中には、腎臓が心配で来たと言う方や既に病診連携医に診ていただいているという方もいらっしゃいました。アンケートで、CKDの認知度を確認したところ、24%という結果で、対策が始まった当初の14%に比べ市民のCKDに対する認知度がアップしているようです。また、尿検査キットと一緒に連携医名簿も同封し、心配なときは連絡票を持って受診をするようお勧めしております。患者様が受診されました際には、御高診いただきますようお願いいたします。

世界腎臓デー in kumamoto 開催予定

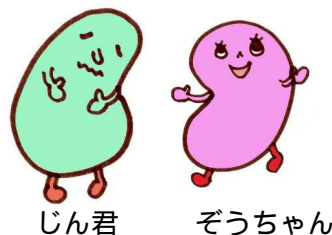
世界腎臓デー(3月第2木曜日)に合わせ、熊本市でもイベントを行います。ここでも尿チェックキットを配布する予定です。

日時：平成22年3月7日(日)10:00~16:00

場所：上通りびぷれす広場

第3号 発行日 2010年1月吉日

熊本市CKD対策イメージキャラクター



今回の主なニュース

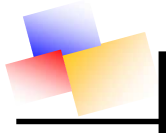
病診連携実績
250件を超える紹介
CKD啓発キャンペーン
尿チェックキットを配布しました
特集：CKD治療戦略
9月29日の病診連携説明会の内容を掲載しています。



[2009.11.8 ゆめタウンはませんにて]



[尿チェックキット]



腎臓専門医と病診連携医に聞きました

～病診連携医システムに関するアンケート(中間報告)～

昨年末、皆様にご協力いただきました「病診連携医システムに関するアンケート」の結果をご報告いたします。皆様からいただいたご意見をもとに、更なるCKD対策推進を図っていきたくて思っております。今後ともご協力をお願いいたします。

【病診連携医編】 回答率：46.7% (227名中106名返答)

腎臓専門医と連携 (CKD患者を腎臓専門医へ紹介) したことがありますか

ある 74名 (69.8%) ない 29名 (27.4%)

連携診療されてのご感想をご記入ください

安心感がある・満足している

- ・専門医の意見・アドバイスで、日常診療に反映できている。
- ・自分の治療方針で間違っていなかったと安心したり、専門的な治療を依頼できたりで心強いです。
- ・腎臓の状況の報告や食事指導もあり、有用と考えている。

患者の理解

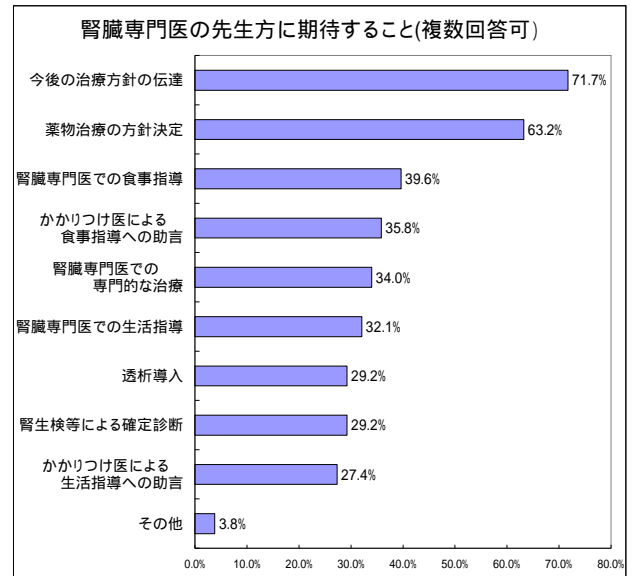
- ・入院加療で専門的に診てもらっており、患者さんの為にもなり感謝している
- ・薬剤の紹介によって変更はなかったが、CKDとして紹介した患者さんの病識の改善、CKDの重要性が解った(患者)と思われる
- ・患者さんからは、食事療法を詳しく説明してもらいよかったとの感想をもらいました。

丁寧な返事

- ・専門医の詳細なレポートとアドバイスがありよかった。
- ・お返事には現在のステージの他、診療で改善すべき点が記載されており、又患者様への栄養指導を行って頂いたこともあります。腎臓病悪化の際の再診の具体的な数値も書いてあり大変助かっております
- ・専門医で診て貰い、的確なアドバイスを得る事が出来た。患者さんも喜んでおられます。

対応に差がある

- ・医療機関によって対応が異なり、紹介しても怒って帰ってくる人もいて紹介しにくい。
- ・連携病院の間で患者さんへの説明(今後の連携、経過観察)などに差があり、連携について一本化(マニュアル)してもらった方がいいと思います。



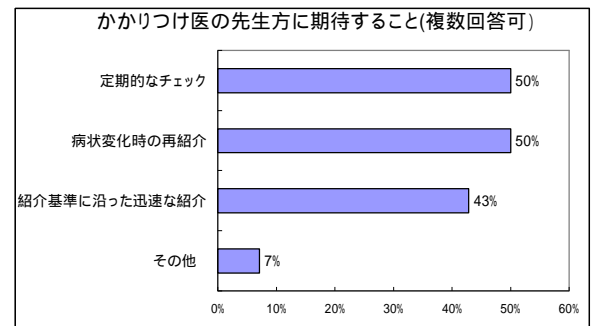
【腎臓専門医編】 回答率：51.9% (27名中14名)

熊本市のCKD(慢性腎臓病)対策病診連携システムの中で、困っていることがありますか

- ・超高齢者も含めた高齢者の紹介も含まれている
- ・かかりつけ医が専門医に何をどこまで求めているのか、そのニーズがよくわからない
- ・患者に過去のCrデータを持たせてくれればありがたい

病診連携されてのご感想や改善すべき点をご記入ください

- ・早期の腎機能障害患者の紹介が増えた
- ・高齢の方の紹介が多く、若い方の紹介が少ないためCKDの早期発見、CKDの進行抑制には問題があると思われる。
- ・最近検尿をする開業医が減って、腎炎関係は発見が遅れている。検尿の重要性をもう少し理解して欲しい。



制作：熊本市健康づくり推進室

住所) 熊本市手取本町1番1号 TEL) 096-328-2145 FAX) 096-351-2183

ホームページもご覧ください <http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/>

健康・福祉・介護 > 健康・医療 > 熊本市の健康課題CKD